

# 魅力 豊かな自然の 広い大地と



①富良野市原始ヶ原の滝

## 北へ南へふらびズム

記者レポート



上富良野町開拓記念館

駅を出てかなり歩きます。上富良野駅から徒歩25分:上富良野町開拓記念館です。この記念館は、十勝岳大噴火の災害から復興を遂げた当時の村長吉田貞次郎邸を解体復元したものだそうです。1926(大正15)年の十勝岳大噴火では144名の尊い命が犠牲となり850haの田畠が一瞬にして奪われました。村を放棄するか、復興するかの村を2分する決断をせまられる中、吉田村長の熱い思いと彼を感じた農民た



上富良野駅



ちの血のにじむような努力により、土壤は驚異的な回復ぶりをみせ、ついに水田が蘇ったとあります。そんな想いが今、東日本大震災というかつてない規模の災害から復興に向かう東北地方の人たちに重なります。上富良野町は農業と十勝岳の景観が美しい観光の町ですが、自衛隊駐屯地との「共存共栄の町」もあります。東日本大震災では、いち早い現地派遣があり、災害救助活動にあたりました。隊員とその家族に感謝しなにもできない身を恥じながら…次の駅に出発進行です!(恭)

雄大な十勝岳連峰を背景に持つ上川南部地域は豊かな自然に包まれています。トドマツやエゾマツなどの針葉樹、ミズナラやドロノキなどの広葉樹と何種類もの木々が森林を形成し、エゾ鹿、キタキツネ、エゾリス、クマゲラ、シマフクロウ等々、数え上げるときりがない野生動物が生息しています。また、山から湧いた水の小さな沢のせせらぎが、清流となって美瑛川や富良野川、空知川にと、豊かな水量の川となります。美瑛町、富良野市は、その面積の70%が、占冠村、南富良野町にいたっては、90%以上が森林の占める割合です。春・夏・秋・冬それぞれの四季にそれぞれの色があり、匂いがあります。四季の移り変わりにメリハリがあるのが魅力です。

せん。大人も体験不足、体験していても忘れてしまった子どもの頃の記憶を呼び起こす意味でも、親子体験教室という企画があり、忙しい家庭生活の中でも、自然に触れる機会を作りたい」と言います。

## 自然を撮る

「目があったんですよ。あーと思ったら、モモンガが、穴から顔を出して近づいてきて、ぼくの匂いを嗅ぐんですよ。で、どうしたと思います?ちょっと、後ずさりしたと思ったら、そのまま目をつぶって寝ましたんですよ。こんなに無防備でおおらかでいいのか野生動物がって。もし、ぼくが、ヘビだったらパクッじゃないですか

## 自然を学ぶ

美瑛町白金温泉、十勝岳の山麓に「国立大雪青少年交流の家」があります。自然豊かな環境の中でキャンプなど集団での交流体験、自然体験、生活体験などさまざまな活動ができる研修・宿泊施設です。この施設の指導者谷崎誠さんに話を聞きました。自然の中に入ると、子どもたちの表情がとてもリアルに表れるといいます。暑い、寒い、痛い、楽しい、苦しいなど、街の中では、周りの大人や環境に妙な気を回していた感情がストレートに出るそうです。「体験活動では、自己責任での行動、右か左かの選択肢が求められる場面がたびたびあり、自分自身としっかり向き合えるように指導するのが大人の役割かもしれません



②若いキタキツネ 7月トマムの森で

## ママの 休け時間

-4時間目-



見たことのない天上空間・雲海

早朝5時、トマム雲海テラス行きのゴンドラが動き始めます。約13分の空中散歩で標高1,088mのゴンドラ山頂へ到着すると、大自然の織り成す壮大な雲海が広がります。雲海は放射冷却により、地形条件と気象条件が重なって発生。「雲海仙人」と呼ばれるスタッフが気象条件を吟味し「雲海ダイヤル」で発生予報と当日の発生状況を伝えます。発生確率は約30%。とびきり早起きをして天上空間から絶景の雲海を望むことができたら、一生の思い出になる筈です。雲海テラスを運営するアルファリゾート・トマムは、旅行中のママを強力

にサポートするためのプロジェクト「まらくだ委員会」を発足し、細やかな配慮の行き届いた特別ルームを用意。オムツ替えセットやおもちゃ、哺乳瓶消毒器などを装備し、フロアの一角には無料の洗濯乾燥機も設置され、ママの負担が最小限ですみます。この他、離乳食の無料提供や託児など、旅するママを応援する様々な工夫がされています。(文)

【写真提供】アルファリゾート・トマム

雲海テラス＆まらくだ委員会（アルファリゾートトマム）

雲海ダイヤル ☎0167-38-2106

〒079-2204 占冠村字中トマム

【雲海テラス・ゴンドラ営業】

時間: 午前5時～午前8時(6/1～10/10)

午前11時～午後2時(7/24～8/31)

料金: 大人1,500円/小学生1,000円